

各位

令和7年度 紀州産梅干しの状況について

和歌山県内の主要梅産地（紀南地方広域）では、昨年に続き、本年も降雹被害が発生いたしました。4月6日から15日の間、4度に渡り大粒の雹が降り、それにより梅の実が落下したほか、深刻な傷を負った実も多数見受けられました。生産農家ならびに私ども加工業者にとって、非常に厳しい状況となっております。

今年3月時点の見込みでは、開花は例年より大幅に遅れ、加えて強風や低温、長引く雨の影響でミツバチの活動が鈍く、着果数は平年の7～8割程度と予測されておりましたが、この雹被害により更なる減収が予想される状況です。

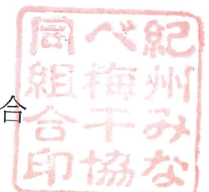
このように、昨年に続く不作と降雹被害の影響により、産地全体として良品の在庫量が著しく減少しており、販売方法の見直しは避けられない状況です。そこで今年度につきましては、傷のある実（大きな傷や虫食いのあるものは除きます）の商品化についても、積極的に検討する必要があると考えております。中でも、両組合が長年最高品質を保証してまいりました「特選認証マーク」付きの商品に関しましては、十分な数量の確保が非常に困難な状況となっております。

近年の異常気象の影響により、農産物全般において従来の生産サイクルでの栽培、収穫が難しくなっている中、私どもは日本の伝統食文化である梅干しを守るため、地域全体で力を合わせて取り組んでまいり所存です。

つきましては、お取引先の皆様におかれましても、2年連続となるこの度の被害の状況をご理解賜りますようお願い申し上げます。今後とも、両組合加盟事業者に対しましても変わらぬご愛顧をお願いし、現状の報告とさせていただきます。

令和7年6月

紀州みなべ梅干協同組合



紀州田辺梅干協同組合

